ナナメ上↗上天草。
NANAME-UE KAMIAMAKUSA

歴史スポット巡り

上天草マイスターガイド
のご利用がオススメ！

上天草のガイドのプロにお任せ下さい。ディープな上天草を楽しめます。

詳しい内容はこちらをチェック

2日間コース

1日目

9時スタート

天草の歴史をわかりやすくお伝えします！

天草四郎ミュージアム　40分

天草四郎の熱い思いを伝える『歴史テーマ館』

『天草・島原の戦い』の歴史的背景及び南蛮文化の景況を受けた当時の様子を資料と映像で分かりやすく伝えてある。
敷地内に『愛の鐘』があり、有明海に沈む美しい夕日を眺めながら、鐘を鳴らすこともできる。

住所
上天草市大矢野町中977-1
☎ 0964-56-5311

10分

ビジターセンター　30分

天草の自然や歴史などを紹介する施設

天草の豊かな自然や歴史をわかりやすい映像やパネル、写真などの展示コーナーがある。
隣接する展望レストラン『kahnya（カーニャ）』では、ランチ・カフェタイムを天草の素晴らしい景色を眺めながらゆっくり過ごせる。

住所
上天草市松島町合津6311-1
☎ 0969-56-3665

上天草の大自然

10分

せんがんざん 千巌山

40分

こちらのガイドは私たち上天草マイスターガイドにお任せ下さい！

足に自信がない人は、バリアフリーの新展望所でも景色が楽しめる

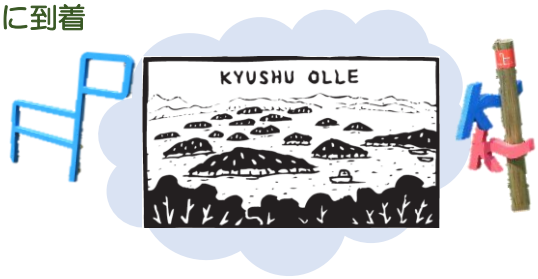
駐車場から頂上まで徒歩約10分

展望所からの景色は絶景！

天草四郎が宴を開いたとされる千巌山頂上からは、天草五橋や雲仙を見渡す絶景を見渡せる。春には植林桜と自生の山桜が咲き乱れ、桜ロードとなる。

アクセス

ビジターセンターから国道266号線を天草方面に約5分行き、森鮮魚店の先の道路を右折し、5分程坂を上ったら千巌山駐車場に到着



15分

巨石

15分

ココ！

長～い年月を経て出来た巨大な岩

千巌山の岩が浸食によって崩れ落ちたもの。岩の下の方にある空洞を願いを念じながら通ると願いが叶うと言われている。

アクセス

九州オルレ松島コースの青・赤のリボンを目印に千巌山から巨石の方へたどって歩くこと15分

九州オルレ
松島コース

20分

きんしょうじ 金性寺

50分

1481年（文明13年）に建造された天草地方最古の六地蔵がありますよ。

境内の周囲に『新四国八十八カ所霊場』がある

静かな山里、教良木。全長約1.4ｋｍの石仏を巡る小道は、四国の札所の実際の位置を考慮に入れて設計された。四国八十八カ所から拝受された砂を祀り八十八の石仏が安置され信仰を集めている。約40分程の遍路歩き。

静かに森林浴を楽しみながらお遍路を歩いてみましょう。私がご案内します！

住所
上天草市松島町教良木2365

☎ 0969-57-0024

30分 ＋ 5分

白嶽の矢岳巨石群（しらたけ やだけきょせきぐん）

40分

世界最大級のドルメン❗？

標高約370mの白嶽。中腹には『白嶽森林公園キャンプ場』があり、4月には絶滅危惧種に指定されているアマクサミツバツツジが見れる。矢岳神社近くにある古代神殿のような巨石がドルメン（支石墓）だとすれば世界最大級＼(◎o◎)／

アクセス

国道266号線を通り、姫戸町へ。国道266号線沿いの『白嶽森林公園』案内版を右折し、『矢岳神社』駐車場へ。案内版に沿って駐車場から徒歩5分

5分 ＋ 35分

藤田家大庄屋跡・観乗寺（ふじたけだいしょうやあと・かんじょうじ）

25分

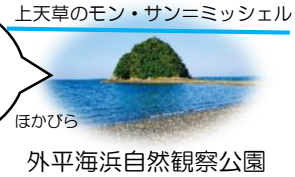
約400年前の大庄屋跡

寛永18年（1641年）鈴木代官によって天草に庄屋制が施工された時に、初代五右衛門が樋島庄屋に任命された。その後、砥岐組の大庄屋に抜擢。その大庄屋跡がこちら。『役座』と呼ばれ、樋島の地番1番地にある。

住所

【観乗寺】上天草市龍ヶ岳町樋島３

龍ヶ岳樋島にある、手つかずの自然が残る島。
潮が引くと、近くの島と陸続きになる。



10分

不動神社（ふどうじんじゃ）

20分

上天草マイスターガイド

詳しい内容はQRコードをチェック

弘法大師とのゆかりあり

春は桜がきれいに咲き誇り、お花見を楽しめる。ここから望む龍ヶ岳と倉岳は絶景！また、左写真の『赤ちゃん土俵入り』行事は、無病息災や五穀豊穣を祈願して毎年旧暦の6月28日に行われている。

アクセス

龍ヶ岳下桶川の岬にあり、樋島大橋を中心にすると、観乗寺の反対側に位置

ながめ 永目のアコウの木　15分

25分

推定樹齢300年以上のアコウ樹

永目十五社宮の境内にある。
天草各地に自生しているアコウ。永目（ながめ）のアコウは、県の天然記念物に指定されている。
幹周りが約11メートルという長さは県内1位。全国では、第3位の巨木。境内の敷地いっぱいに根が張り出し、年輪の重さを感じさせるご神木。

住所
【永目神社】上天草市姫戸町姫浦3947番地2

15分 ＋ 10分

たかぶとやま 高舞登山　15分

マイクロバスの大きさまでであれば駐車場まで行けるよ！

フォトスポットとしても人気！

日本の夕陽百選に選ばれた絶景スポット。
天草松島の落ち行く夕陽の絶景が目の前に広がる。
展望台近くまで車で行けるので便利！

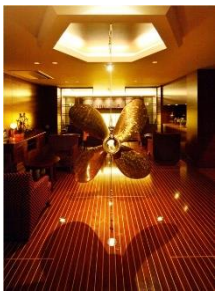
アクセス
姫戸町から266号線を松島町阿村方面へ。案内板を目印に、ナナメ左方向へ登っていくこと5分の。駐車場に車を止めて、徒歩10分

上天草の夜

上天草の美味しいもの
体も心も癒される温泉
大自然を満喫

YUMMY

美味しいお酒もあるよ！



YUMMY

2日目

【江樋戸港発】

25分

湯島（談合島）

4時間

人口約300人、周囲約4ｋｍ、猫200匹以上の別名『猫島』

大矢野島と長崎県島原半島に挟まれた有明海の中間にぽっかり浮かぶ島。
歩いて1時間30分で周囲を1周できる。
天草・島原の戦い（1637～1638）で天草と島原の一揆勢がこの島で話し合い（談合）をしたことから『談合島』とも呼ばれる。
天草・島原の戦いは、この島から始まった。

こちらのガイドは私たち上天草マイスターガイドにお任せ下さい！

上天草マイスターガイド

湯島の深～い歴史スポットを一緒に巡りましょう

❶

湯島灯台　『恋する灯台』に認定！

大正時代に建てられた当時のままの白亜の灯台。
見晴らす向こうは島原。傍らには南国の植物がしげり、往時をしのばせる。

❷

NO PHOTO

一ちょ墓（いっちょばか）　島人のやさしさの証

1792（寛政４）年、『島原大変、肥後迷惑』と言われる雲仙普賢岳の大噴火の際、大津波により島に流れ着いた遺体を島の人々が供養したもの

❸

アコウ樹　別名『ハートの樹』ともいわれる

昔は島民の家を風から守るための防風林として栽培されていたアコウ樹。
その中でもハートの形をしたアコウ樹はカップルたちのフォトスポットとして人気

❹

鍛冶水盤（かじすいばん）　武器製造所の名残

鍛冶職人が槍や刀などの武器を製造する際にしようしたといわれる水盤。
一時、島外に置かれていたが、昭和初期に島に戻り、諏訪神社境内に置かれている

❺

諏訪神社（すわじんじゃ）　約200年の歴史がある社

1817（文化14）年、長崎諏訪大社から分霊奉祀された神社。
1831（天保２）年の湯島火災で焼失しましたが、1857（安政4）年に再建された

❻

峯公園（みねこうえん）　湯島の頂上、標高104mの展望台

六角形の展望台からは、雲仙、島原、天草の島々を見ることができる。
周りには畑が広がり、近くにはキリシタン墓碑や談合島の碑もある

❼

遠見塚の跡（とおみづか　あと）　戦いの秘密基地

天草・島原の戦いの準備の際、天草四郎がこの島で武器を作らせたと言われている。重要な戦いの秘密基地でもあった。当時、島の頂上には番人が置かれ、船の見張りをしたり、連絡拠点ともなった

❽

談合島の碑（だんごうじま　ひ）　天草・島原の戦い時の作戦会議場跡

天草四郎時貞を中心とした一揆軍の指導者が集まり、作戦会議（談合）が行われたそう。1637年10月24日に行われた談合で天草四郎は総大将になり、同月26日、島原城攻撃に参加した。湯島が談合島と呼ばれるゆえん

❾ ❿

涼泉院殿月宗白居士塚　キリシタン大名の実弟、島に死す

キリシタン大名の有馬家第１３代晴信の実弟、純実の塚。
晴信との宗教信仰との相違により怒りをかった純実はこの島に流され、殺されたと伝えられている（写真左側）

キリシタン墓碑　独特の形に刻まれた十字架

湯島で亡くなった日本人キリシタン布教師の墓碑。
右側の墓石には十字架が刻まれている。（写真右側）

湯島の飲食店、体験、その他の旅情報はこちらから

詳しい内容は、
QRコードをチェック

湯島

◆定期船【湯島商船】◆

【料金】大人600円（中学生以上）
小人300円（幼児（1～6歳）2人以上小人料金）

湯島発	25分	江樋戸発
07:30		08:15
09:00		10:00
12:00		13:15
14:00		15:00
16:00		17:30

昭和丸
0964-56-4060
菊盛丸
0964-56-4063

※天候や時期によって運航状況がかわります

Access

ナナメ上↗上天草。
NANAME-UE KAMIAMAKUSA

上天草市　観光おもてなし課

TEL：0964-26-5512
E-mail：kankou@city.kamiamakusa.lg.jp